



2019年 10月17日  
第43号

JR 東労組   
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横地申第10号

## 「駅業務執行体制の再構築等(川崎駅)」に関する申し入れ 団体交渉実施!!②

～①からのつづき～

5. 駅業務委託後の現金の取扱いについて示すこと。

これまでと同様である。

<組合>券売機締切後に納金する場合、中南にある入出金機を利用していたが委託後の取扱いはどうか。

<会社>新たに中北改札に入出金機を設置する。券売機締切後の売上金は、中北にある入出金機に納金する。

<組合>券売機の締切等はどうなるのか。

<会社>現行と変わらない。

<組合>警送金についてはどうか。

<会社>ステーションサービスの警送金は、ステーションサービスの社員が行う。JR本体とは分けて行う。

<組合>業務委託時の釣銭準備金の取扱いについてはどうなるのか。

<会社>通常通りの締切作業を行っていく。釣銭準備金を含めたお金を回収し、納金する。その後、釣銭準備金を各券売機に装填する。釣銭準備金はJR本体のお金を利用する。

<組合>釣銭準備金をステーションサービスに貸し出すというイメージで良いのか。

<会社>釣銭準備金はJR本体のお金である。ステーションサービスにお金を貸し出すということではない。

6. 列車の遅れなどの放送はどの箇所で行うのか示すこと。

状況に応じて、対応することとなる。

<組合>現在、異常時放送は中北改札と中南改札で協力して行っている。業務委託後はどうなるのか。

<会社>本体中心に行っていく。中北改札でやらないということではない。状況に応じて、中南改札、中北改札、内勤の駅総体として行っていく。情報提供は現行と同様、東海道ホームから行う。

<組合>放送設備などの変更はあるのか。また、北改札には放送設備はあるのか。

<会社>現行の放送設備を利用する。北改札にも放送設備はある。

7. びゅうプラザと出札はワンフロアだが、業務委託後に仕切りなど作るのか示すこと。また、休憩箇所はどこでとるのか示すこと。

必要な設備は実施していく。

<組合>出札とびゅうプラザはワンフロアだが仕切りを作るのか。

<会社>客溜り側の出札とびゅうプラザの仕切りは現行あるものを利用する。執務室側の出札とびゅうプラザの仕切りは扉付きの仕切りを設置する。

<組合>中北改札の社員の寝室やロッカーなどはどこにあるのか。

<会社>北改札にある寝室とロッカーを利用する。

<組合>休憩室についてはどうか。

<会社>中北改札にある休憩室については、基本的にステーションサービスの社員が休憩するスペースとなる。管理は川崎駅で行っているため、必要に応じてJRの社員が入ることはある。

<組合>業務委託に関して設備の改良などの予定はあるのか。

<会社>中北改札は開業して年数が経過していないので、改良の予定はない。

**以上を持って交渉は終了しました。  
今後、組合員とともに委託後の検証行動を進めていきます。**